

# 学校だより しらかわ



飯豊町立添川小学校

2020. 2. 27

いきいき なかよく ほこりを持って 第20号



## 来年度の学校運営について

令和2年4月1日から令和2年度がスタートします。「学習指導要領の完全実施」「働き方改革への取組」などへの対応が求められています。

そこで、令和2年度飯豊町立添川小学校学校運営の基本的な構想についてお知らせいたします。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、何卒ご理解の上ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 令和2年度にはこんなことが

#### ◆1 小学校では、新学習指導要領が完全実施となります。

令和2年度から、小学校では「新学習指導要領」が完全実施となります。置賜地区では、それに対応して、全ての小学校において授業時数を令和元年度から20時間増やした教育計画を作成し、実施して参りました。実施の見通しは立ちましたが、実績をもとに、一層効果的で効率的な教育課程編成が求められます。

(3・4年生の外国語活動本格実施。5・6年は外国語科に。プログラミング学習の実施。キャリアパスポートの導入など。)

#### ◆2 実効性のある「働き方改革」が求められます。

教職員の働き方に関わって、法整備が進んでいます。複雑化・多様化する子どもの実態に対応するため、学校ではもっと「子どもに向き合う時間」を増やすことが求められています。次年度は、更に実効性のある取組が求められており本校としても対応することになります。

#### ◆3 各学年1学級の6学級となります。教員が2人増えます。

「公立義務教育学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の規定により、次年度は複式学級がなくなり、各学年「単式」の6学級となります。また、教員が2人増となります。

#### ◆4 添川小を会場に「飯豊町学校研究発表会」が行われます。

飯豊町の各学校では、授業の質や教職員の資質を向上させる目的で、テーマを決め研究に取り組んでいます。そして、その研究成果を発表する場として「飯豊町学校研究発表会」を持ち回りで開催し、教職員が互いに学びを深めています。令和2年度は、添川小学校が「発表校」となり、11月に研究成果を発表させていただきます。町内はもとより、置賜各地、希望があれば県内外からもご参会いただきます。

# そこで添川小学校では

令和2年度は、今年度のような「新天皇即位」に関わる祝日や休日の増加はなく、従来通りの授業日設定ができます。また、令和元年度行った「6校時の日を増やす」「過密な時期の行事をゆとりのある時期に配置する」「行事の内容ややり方を見直す」「連絡票を見直す」といった取組の成果を生かし、更に「効率的」「効果的」な学校運営を目指します。

## ★1 年間の授業日数203日、総時数1072時間とします。

時数を確保しつつ、授業日数を削減します。

## ★2 行事の内容ややり方を更に見直します。

より効果的な行事となるよう、行事の内容ややり方を見直します。無駄を削り、ねらいを絞ります。複数の行事をまとめたり、簡素化したり、回数を減らしたりします。

## ★3 過密な時期の行事の配置を再度見直します。

年間の行事の配置を再度点検し、活動量が過密になっているところがあれば分散するよう再配置します。

## ★4 教職員の役割分担を見直します。

増員のメリットを生かした分担により、「子どもと向き合う時間」の創出を目指します。

## ★5 実態や課題をもとに、子ども達が主体的に学ぶ授業を実施します。

新しい学習指導要領のもとでは、「主体的 対話的で 深い学び」を実現する授業の実施が求められています。添川小学校では、これまでも、「とも学び」を取り入れることで、子ども達が協力し合い、話し合いながら学び合う授業を実施してきました。来年度は、「カリキュラムマネジメント」の手法を活用して、実態や課題をより明確にし、効果的な手立てによって、更なる学力の向上を目指します。



# 添川小学校が目指すもの

「教育基本法」の第1条に次のように記されています。

「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」これが教育の目的です。

よく、「学校は社会の縮図」と言われますが、「社会に出るために必要な力をつけさせ、必要な練習をさせる場所」とも言えます。学校の使命は、「様々な人や物事と関わる活動を通して、子ども達に健康で幸せな社会生活を営むために必要な知識や技能を身に付けさせること」です。令和2年度もこれまで同様に、添川小学校は、子ども達を幸せに導く、より質の高い教育を目指していきます。

今後も継続的に実現していくことは次のようなことです。

- 安全・安心の徹底
- 誰一人取り残さず、学力・体力・気力を育てる学習の充実
- 優しさと思いやりの言葉が行き交う学校生活の創造
- 家庭・地域と共に子どもを育てる教育活動の推進

